令和7年第3回にかほ市議会定例会会議録（第4号）

1、本日の出席議員（15名）

1番	高橋利枝	2番	齋藤光春
3番	佐々木正勝	4番	宮崎信一
5番	齋藤雄史	6番	齋藤聡
7番	齋藤進	9番	佐々木平嗣
10番	小川正文	11番	佐々木孝二
12番	佐藤直哉	13番	佐々木春男
14番	佐々木敏春	15番	森鉄也
16番	伊藤竹文		

1、本日の欠席議員（なし）

1、職務のため議場に出席した事務局職員は次のとおりである。

議会事務局長	今野和彦	次長	加藤潤
班長兼副主幹	今野真深		

1、地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者は次のとおりである。

市長	市川雄次	副市長	本田雅之
教育長	小園敦	総務部長 (危機管理監)	佐々木俊孝
企画振興部長 (地方創生政策監)	高橋寿	市民福祉部長	佐々木修
農林水産建設部長	阿部光弥	商工観光部長	池田智成
教育次長	佐藤喜仁	消防長	須田勇喜
会計管理者	齋藤稔	総務課長	齋藤邦
財政課長	須田泰史	総合政策課長	西村仁
観光課長	今野伸二	選挙管理委員会・ 監査委員事務局長	佐藤直子
福祉課長	佐々木美佳	農林水産課長	柴田俊幸
建設課長	竹内千尋	消防本部総務課長	須藤孝

1、本日の議事日程は次のとおりである。

議事日程第4号

令和7年6月10日（火曜日）午前10時開議

- 第1 議案第59号 にかほ市議会議員及びにかほ市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 第2 議案第60号 にかほ市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 第3 議案第61号 にかほ市消防本部庁舎ZEB化改修事業請負契約の締結について
- 第4 議案第62号 令和7年度にかほ市一般会計補正予算（第3号）について
- 第5 報告第2号 繰越明許費の報告について
- 第6 報告第3号 事故繰越しの報告について
- 第7 議案第43号 にかほ市税条例の一部を改正する条例制定についての専決処分の報告及びその承認について（専決第2号）
- 第8 議案第44号 にかほ市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定についての専決処分の報告及びその承認について（専決第3号）
- 第9 議案第45号 令和6年度にかほ市一般会計補正予算（第14号）の専決処分の報告及びその承認について（専決第4号）
- 第10 議案第46号 令和6年度にかほ市国民健康保険事業特別会計事業勘定補正予算（第2号）の専決処分の報告及びその承認について（専決第5号）
- 第11 議案第47号 令和6年度にかほ市国民健康保険事業特別会計施設勘定補正予算（第3号）の専決処分の報告及びその承認について（専決第6号）
- 第12 議案第48号 令和6年度にかほ市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）の専決処分の報告及びその承認について（専決第7号）
- 第13 議案第49号 にかほ市総合福祉交流センター条例の一部を改正する条例制定について
- 第14 議案第50号 にかほ市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について
- 第15 議案第51号 にかほ市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について
- 第16 議案第52号 にかほ市スキー場条例の一部を改正する条例制定について
- 第17 議案第53号 にかほ市若者支援住宅整備事業設計建設工事請負契約の締結について
- 第18 議案第54号 金浦B&G海洋センター新築工事請負契約の締結について
- 第19 議案第55号 羽越本線小砂川・上浜間大須郷こ線橋補修補強工事の施行に関する協定の締結について
- 第20 議案第56号 にかほ市過疎地域持続的発展計画の変更について
- 第21 議案第57号 令和7年度にかほ市一般会計補正予算（第2号）について
- 第22 議案第58号 令和7年度にかほ市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）について
- 第23 一般会計予算特別委員会の設置
- 第24 議案及び陳情の付託

1、本日の会議に付した事件は次のとおりである。

議事日程第4号に同じ

午前10時00分 開 議

●議長（宮崎信一君） ただいまの出席議員は15人です。定足数に達していますので、会議は成立します。

これから本日の会議を開きます。

日程に入る前に報告します。地方自治法第121条の規定に基づく出席者は、お手元に配付のとおりです。

本日、議案第59号から議案第62号の4件が追加されております。これを本日の議事日程に含めておりますのでご確認願います。

ただいまの件について、本日議会運営委員会を開催しておりますので、議会運営委員長の報告を求めます。15番森鉄也議会運営委員長。

【議会運営委員長（15番森鉄也君）登壇】

●議会運営委員長（森鉄也君） おはようございます。本日9時半から議会運営委員会を開催し、本日提出された追加の議案について協議いたしましたのでご報告いたします。

お手元に配付の追加議案綴りをご覧ください。

本日追加されましたのは、議案第59号にかほ市議会議員及びにかほ市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例制定についてから議案第62号令和7年度にかほ市一般会計補正予算（第3号）についてまでの4件であります。

追加された議案については、本日の本会議において当局から提案理由の説明、議案質疑を行い、議案第59号から議案第62号を追加した付託表のとおり委員会に付託することとして決定しました。

質疑については、通告なしでも受け付けることといたします。

以上でございます。

●議長（宮崎信一君） これから議会運営委員長の報告に対する質疑を行います。質疑はありますか。

【「なし」と呼ぶ者あり】

●議長（宮崎信一君） 質疑なしと認めます。これで議会運営委員長に対する質疑を終わります。

お諮りします。本日追加された議案第59号から議案第62号までの4件について、議会運営委員長の報告のとおり決定することにご異議ありませんか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

●議長（宮崎信一君） 異議なしと認めます。したがって、議案第59号から議案第62号までの4件については、そのように決定しました。

日程第1、議案第59号にかほ市議会議員及びにかほ市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例制定についてから日程第4、議案第62号令和7年度にかほ市一般会計補正予算（第3号）についてまでの議案4件を一括議題とします。

朗読を省略しまして、当局から提案理由の説明を求めます。市長。

【市長（市川雄次君）登壇】

●市長（市川雄次君） 改めまして、おはようございます。

それでは、今定例会に追加提案させていただき議案の要旨について説明をさせていただきます。

初めに、議案第59号にかほ市議会議員及びにかほ市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例制定についてであります。

これは公職選挙法施行令の一部を改正する政令及び公職選挙法施行規則の一部を改正する省令の施行に伴い、条例の一部を改正しようとするものであります。

次に、議案第60号にかほ市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定についてであります。

これは、国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律の改正に伴い、条例の一部を改正しようとするものであります。

次に、議案第61号にかほ市消防本部庁舎ZEB化改修事業請負契約の締結についてであります。

これは公募型プロポーザル方式による随意契約により、金額3億1,350万円でユアテック・国際航業特定改修事業共同企業体と契約を締結することについて、議会の議決を求めるものであります。

次に、議案第62号令和7年度にかほ市一般会計補正予算（第3号）についてであります。

既定の歳入歳出予算にそれぞれ1億3,757万6,000円を追加し、総額を180億2,266万6,000円とするものであります。

補正の内容は、歳出の2款4項選挙費を条例改正に対応するため増額し、3款民生費に定額減税補足給付金事業費を追加するとともに、それらの財源として歳入の14款国庫支出金、15款県支出金などを増額するものであります。

以上、議案の要旨を説明させていただきましたが、補足説明については担当の部課長が行いますので、よろしく願いいたします。

●議長（宮崎信一君） 次に、担当部長から主な項目についての補足説明を行います。

初めに、議案第59号及び議案第60号について、選挙管理委員会事務局長。

●選挙管理委員会・監査委員事務局長（佐藤直子君） 議案第59号について補足説明いたします。

提出議案説明資料1ページをご覧ください。

本市の議会議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担については、国の選挙における選挙運動の公費負担の額に準じて同額とすることで単価根拠の明確化を図り、かつ選挙運動にかかる費用の高額化を回避するとともに、全ての候補者に平等な選挙運動の機会を保証してきたところであります。

国の公営単価を規定する公職選挙法施行令は、3年に一度行われる参議院議員通常選挙の年に、その基準額の見直しをしてきたところですが、改正政令が本年6月4日に施行されました。この改

正に準じて本市の議会議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担の限度額を改めるものであります。

改正の内容ですが、第8条関係では、選挙運動用ポスター1枚当たりの作成単価を541円31銭から586円88銭に改めるものであります。

議案第59号の説明は以上です。

続きまして、議案第60号について補足説明いたします。

提出議案説明資料2ページをご覧ください。

国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律が令和7年5月28日に成立し、6月4日に施行されたことから、投票所の投票管理者などの費用弁償単価が改定されました。本市では、投票管理者等の報酬額は同法の単価に基づいて定めていることから、条例の一部改正を行うものです。

国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律は、参議院議員通常選挙がある年、つまり3年に一度、選挙等の円滑な執行を図るため、物価の変動、選挙等の執行状況等を考慮し、国会議員の選挙の執行について国が負担する経費で、地方公共団体へ交付するものの基準を改定しています。

改正の内容ですが、選挙長及び開票管理者の報酬単価を日額1万800円から日額1万2,200円へ、投票所の投票管理者の報酬単価を日額1万2,800円から日額1万4,500円へ、期日前投票管理者の報酬単価を日額1万1,300円から日額1万2,800円へ、投票所の投票立会人の報酬単価を日額1万900円から日額1万2,400円へ、期日前投票立会人の報酬単価を日額9,600円から日額1万900円へ、開票立会人及び選挙立会人の報酬単価を日額8,900円から日額1万100円へ改めるものです。

説明は以上となります。

●議長（宮崎信一君） 次に、議案第61号について、消防長。

●消防長（須田勇喜君） それでは、議案第61号について補足説明をいたします。

説明資料3ページから4ページをご覧ください。

プロポーザル審査の結果を、ユアテック・国際航業特定改修事業共同企業体に通知した後、見積りの徴収を行い、令和7年6月4日に3億1,350万円で仮契約を締結したものです。

事業の期間につきましては、議決のあった日から令和8年3月27日までとするものです。

改修の内容としましては、現在使用しているエネルギー量を半分以下にするZ E B R e a d yで、その目標達成に必要な実施設計、改修工事及び工事監理を行うものです。

財源は、脱炭素化推進事業債を活用し、本事業を進めます。

本事業のスケジュールとしましては、議決後、実施設計を行い、それを基に機器の選定等を行います。併せて、脱炭素を推進するための第三者認証の手続きを行い、承認取得後に本工事に移るものであります。

本工事については、消防庁舎の特性上、24時間365日稼働していることから、騒音等への対応を考慮した施工が予定されております。

補足説明は以上です。

●議長（宮崎信一君） 次に、議案第62号の歳入歳出について、選挙管理委員会に関することは選挙管理委員会事務局長。

●選挙管理委員会・監査委員事務局長（佐藤直子君） 議案第62号のうち、選挙管理委員会関係について補足説明いたします。

補正予算書7ページをご覧ください。

初めに、歳出ですが、2款4項選挙費の補正は、先ほど説明した議案第59号及び議案第60号の条例改正による投開票管理者や立会人などの報酬の改定に対応するため、4目参議院議員通常選挙費に29万6,000円、5目市長選挙費に18万2,000円を追加するものです。

補正予算書6ページをご覧ください。

歳入の15款3項1目総務費委託金の説明欄、参議院議員選挙費交付金29万6,000円については、県からの委託金として歳出と同額を計上するものです。

18款2項1目財政調整基金繰入金18万2,000円は、歳入歳出の調整のため計上するものです。

なお、本補正後の財政調整基金の残高は22億5,131万7,000円となります。

選挙管理委員会の関係は以上となります。

●議長（宮崎信一君） 次に、市民福祉部に関することは市民福祉部長。

●市民福祉部長（佐々木修君） 続きまして、市民福祉部関係について補足説明いたします。

説明資料5ページをご覧ください。

今回の補正は、令和6年度に実施した調整給付金事業のうち、令和6年分所得税及び令和6年度住民税所得割額の実績に基づいて定額減税しきれない方を対象に不足分を支給するものです。

支給対象者は、令和7年1月1日においてにかほ市に住民登録のある方で、不足給付1のパターンは、本来給付すべき給付額と当初調整給付額との間で差額が生じた方で、2,500人を見込んでおります。不足額給付2のパターンは、定額減税対象外で低所得世帯向け給付の対象世帯でない方、原則4万円の支給で、700人を見込んでおります。

次に、予算の内容について説明いたします。

補正予算書7ページをご覧ください。

3款1項8目定額減税補足給付金事業費7節から12節までは、事務費分を計上しております。

11節役務費117万2,000円のうち、通信運搬費は郵便料として60万1,000円、手数料は口座振込手数料として57万1,000円、12節委託料496万4,000円のうち、調整給付金のシステム構築委託料として31万2,000円、コールセンター業務委託料として465万2,000円を計上しております。

18節調整給付金として3,200人分、1億3,000万円を計上しております。

歳入につきましては14款2項1目物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金に1億3,709万8,000円を計上しております。

今後のスケジュール（案）といたしましては、市広報7月1日号で事業の周知をいたします。7月から8月にかけて対象者へ申請書類を順次郵送し、8月上旬から振り込みを開始できるよう進める予定でおります。

市民福祉部関係の補足説明は以上です。

●議長（宮崎信一君） これで提案理由の説明を終わります。

これから議案質疑を行います。

議案第59号から議案第62号までの議案4件に加えて、日程第5、報告第2号繰越明許費の報告についてから日程第22、議案第58号令和7年度にかほ市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）についてまでの報告2件、議案16件、計22件を一括議題とします。

質疑には自己の思いや意見を入れないようにしてください。

なお、発言は演壇で行ってください。

この際、申し上げます。議案等の件名は、必要と認めるときは朗読を省略、また、簡略にしたいと思しますのでご了承願います。

初めに、報告第2号から議案第44号までの報告2件、議案2件、計4件の質疑を行います。質疑はありませんか。

【「なし」と呼ぶ者あり】

●議長（宮崎信一君） 質疑なしと認めます。これで報告第2号から議案第44号までの質疑を終わります。

次に、議案第45号令和6年度にかほ市一般会計補正予算（第14号）の専決処分の報告及びその承認について（専決第4号）の質疑を行います。質疑はありませんか。

【「なし」と呼ぶ者あり】

●議長（宮崎信一君） 質疑なしと認めます。これで議案第45号の質疑を終わります。

次に、議案第46号から議案第51号までの議案6件の質疑を行います。質疑はありませんか。

【「なし」と呼ぶ者あり】

●議長（宮崎信一君） 質疑なしと認めます。これで議案第46号から議案第51号までの質疑を終わります。

次に、議案第52号にかほ市スキー場条例の一部を改正する条例制定についての質疑を行います。

質疑の通告がありましたので、発言を許します。6番齋藤聡議員。

●6番（齋藤聡君） おはようございます。それでは、質疑の方をさせていただきます。

議案番号第52、議案名の方がにかほ市スキー場条例の一部を改正する条例制定について。

中山スキー場の一部を地権者より返還の意向が示されたとの説明がありましたが、今回の用途廃止により、地元の子どもたちへの影響がないのか、さらに、市は引き続き同スキー場をスノーパークとして事業を促進していくのか、次の点について伺います。

①今回返還の意向が示された理由は何であるのか。

②市は今後、スノーパークの取り組みについてどのような考えを持っているのかを伺います。

●議長（宮崎信一君） 答弁、商工観光部長。

●商工観光部長（池田智成君） それでは、齋藤聡議員の議案第52号に関する議案質疑にお答えをいたします。

初めに、①についてであります。

中山スキー場のゲレンデ部分は市有地、市の土地であります。その下の駐車場を含む平坦な部分は民有地であります。これまで長きにわたり、ほぼ無償でお借りしておりましたが、このたび、事業用地として活用を図るため、返還してほしいとの申出があったところです。

市といたしましては、所有者様のこれまでのご理解とご協力に感謝するとともに、申出を受け入れることとしたところであります。

次に、②についてであります。

巾山スキー場は、令和5年度からスノーパークとして活用しておりましたが、全て事前予約によって受付しており、主に市内二つの小学校の1・2年生の授業として年1回の利用がありました。今後も冬期間の授業として利用を希望される場合は、小学校と協議の上、代替え場所について検討してまいりたいと考えております。

以上です。

【6番（齋藤聡君）「終わります」と呼ぶ】

●議長（宮崎信一君） これで議案第52号の質疑を終わります。

次に、議案第53号にかほ市若者支援住宅整備事業設計建設工事請負契約の締結についての質疑を行います。

質疑の通告がありましたので発言を許します。2番齋藤光春議員。

●2番（齋藤光春君） 通告に従いまして質問いたします。

議案番号53号、議案名は、にかほ市若者支援住宅整備事業設計建設工事請負契約の締結についてであります。

議案綴りの33、説明資料の28から29ということになっております。

1、今回の「設計建設工事」は、約1.7haの造成及び隣接する市道の拡幅工事を経て、整備戸数20戸、建築面積451㎡、延床面積994.20㎡を整備しようとするものであります。

令和6年9月の本事業計画の説明や委員会では、今回の契約議案に向けた入札公告手続を進めていく旨、説明を受けました。その際、間取り面積については1LDK40㎡程度16戸、1LDK55㎡程度4戸の整備を条件として提示することとの話であり、その内容で債務負担行為を設定したものと認識しています。しかしながら、今回の契約議案では、1LDK40.14㎡16戸、2LDK55.67㎡4戸を整備することになっています。なぜこの半年の間で条件が変更になったのか、また、この間に議員に変更の説明する機会はなかったのか伺います。

2、「若者支援住宅事業」の共同住宅建設予定地は、100戸建設を予定した用地取得が既に完了していると認識しています。

①事業を縮小して開始した主な理由は、長期金利の見直しと当初想定した以上の資材価格の高騰を受けてのことではありますが、今回の整備規模を20戸とするにあたって、需要予測はどのように行われ、この需要予測は今回の整備規模にどのように影響したのか。

②当初約30億円の事業で100戸を予定していましたが、今回の入札結果を受けて、今後100戸まで整備するとした場合、想定される事業規模はどの程度と予測されるのか伺います。

●議長（宮崎信一君） 齋藤議員に申し上げます。最初の1.7㎡、これ1.7haというふうに——訂正をお願いします。

●2番（齋藤光春君） 訂正いたします。最初に、約1.7haと訂正いたします。（該当箇所訂正済）

●議長（宮崎信一君） 訂正を許可いたします。

答弁、企画振興部長。

●企画振興部長（地方創生政策監）（高橋寿君） それでは、齋藤光春議員の1番の議案質疑にお答えいたします。

議員のおっしゃるとおり債務負担行為設定時点では、約40㎡、約55㎡の、いずれも1LDKを想定しておりました。債務負担行為設定後の令和6年11月12日に開催した第1回にかほ市若者支援住宅整備事業者選定委員会において公募資料等を議論した際に、複数の委員から、1LDKと限定してしまうと事業者提案の裁量が制限される。1LDKを絶対条件とすると、使い道が固定されてしまうので、柔軟性を持たせた方がよいとの意見があり、間取りタイプは示さない方が様々なバリエーションの提案がされるのではないかと期待されるとの委員会での議論を尊重し、要求水準書の表現について、当初の計画を変更したのではなく、「本市は各住戸の間取りについて1LDKとすることを想定しているが、事業者の提案を限定するものではない」と修正し、ホームページで要求水準書を公開しており、今回の事業者による提案となったものです。

面積要件は変更しておらず、この要求水準に基づいて提案者からは現在のニーズに即した提案をしていただいたものと考えており、今回提案いただいたものを事業者選定委員会において4月に2回の審査を行い、基本協定、仮契約を締結したものであります。

2の①についてお答えします。

令和6年8月27日に議会への説明会において、若者支援住宅整備事業について説明しており、繰り返しの説明となりますが、住宅本体の建築について、令和6年3月に社会資本総合整備計画の変更を提出しており、この際に「第3期地域住宅計画・秋田県にかほ地域」の中に若者支援住宅の整備について追加しております。この中の供給計画の中で需要予測によるものではなく、まずはスモールスタートで整備を行うこととして、1期20戸の規模の整備について示しております。これまでの説明のとおり、需要の動向を見ながら、必要に応じて次期計画へと進んでいきたいと考えております。

次に、②についてであります。

先ほどの説明のとおりですが、今回20戸の整備を行い、需要の動向を見ながら次期計画を検討していくこととしております。現段階で100戸の整備を行うと決定しているものではありませんので、今後の想定される事業規模について、現在どの程度と予測している計画数字はありません。

以上です。

●2番（齋藤光春君） 議長、1番のところはまだ答え出ていませんが。議員に説明する機会はなかったのか何うという部分があったんですが、答えまだいただいておりません。

●議長（宮崎信一君） 齋藤光春議員。

●2番（齋藤光春君） 今、ご返答いただきましたが、私が最初に、なぜこれが議員に対する説明の機会はなかったのかということをお答えいただけませんでした。これ、今までですね、何度となく当初の計画から変更がなされてきています。その都度、その理由についてもしっかりと議会に説明をして、またその議会での承認を得て事業を進めているはずだと思います。今回12月に我々が承

認したのは、先ほど1LDKの計画であります。これが変更になったのであれば、締結前に我々にその説明があってもよかったのではないかと思います。ましてや、これについて審議委員会の方で検討されたということでもありますけれども、当初いろいろなアンケート調査の上、1LDK、2LDKからニーズがあったので、また、一般の民間のアパートの方に被らないようにということで1LDKにしたというので進めてきたはずなので、まずここの変更をしたことについても我々の今回の説明がなかったのか再度伺います。

●議長（宮崎信一君） 企画振興部長。

●企画振興部長（地方創生政策監）（高橋寿君） ただいま説明したとおりであります。我々としては1LDKを変更したものではありません。先ほど言いましたけれども、各住戸の間取りについて1LDKとすることを想定しているということで要求水準書に記載しております。ただし、事業者の提案を限定するものではないということで要求水準書を公開し、今回提案をいただいております。提案をいただいた段階で、4月に2回の事業者選定委員会を開催しておりますが、その提案いただいた内容は、その段階で、その事業者に、落札候補者として決定しているものではありませんので、その段階でも2LDKと決まっているものでもありません。提案いただいた内容を審査して仮契約まで、基本協定、仮契約を締結した段階で、その提案を受け入れての仮契約ということになりましたので、そこで2LDKの提案について受けたということで今回資料の方を提出しておりますので、その前の段階で1LDKから2LDKに変更したということではないので、説明する機会はなかったということでもあります。

●議長（宮崎信一君） 暫時休憩します。

午前10時32分 休憩

午前10時33分 再開

●議長（宮崎信一君） 再開します。

これで議案第53号の質疑を終わります。

次に、議案第54号の質疑を行います。質疑はありませんか。

【「なし」と呼ぶ者あり】

●議長（宮崎信一君） 質疑なしと認めます。これで議案第54号の質疑を終わります。

次に、議案第55号羽越本線小砂川・上浜間大須郷こ線橋補修補強工事の施行に関する協定の締結についての質疑を行います。

質疑の通告がありましたので発言を許します。6番齋藤聡議員。

●6番（齋藤聡君） では、議案第55号羽越本線小砂川・上浜間大須郷こ線橋補修補強工事の施行に関する協定の締結について、質疑をいたします。

東日本旅客鉄道株式会社との協定締結からの期間が令和9年3月31日までとなっております。工事期間が2年間にわたる間、そのこ線橋の工事区間は迂回路になるのか、若しくは片側通行になる

のか、地元住民の方の日常生活に関わる重要なことであり、その点についてお伺いいたします。

●議長（宮崎信一君） 農林水産建設部長。

●農林水産建設部長（阿部光弥君） 齋藤聡議員の議案質疑にお答えいたします。

現在の予定になりますが、原則として施工時のみ片側交互通行を予定しております。ただ、2年間にわたりずっと片側交互通行ではなく、交通に支障のある期間だけ限定になります。下部工の補修等については、上部は普通に通行できるものと考えておりますので、実際に利用者への影響を最小限とするため、できるだけ長い期間とならないような規制をして施工する予定です。

通行部分に影響する工種も多いため、今後、工事内容の精査により、迂回路をお願いする可能性もありますが、その際は関係自治会への周知を図ってまいります。

【6番（齋藤聡君）「終わります」と呼ぶ】

●議長（宮崎信一君） これで議案第55号の質疑を終わります。

次に、議案第56号にかほ市過疎地域持続的発展計画の変更についての質疑を行います。

質疑の通告がありましたので発言を許します。5番齋藤雄史議員。

●5番（齋藤雄史君） そうすれば、議案番号56、議案名、にかほ市過疎地域持続的発展計画の変更について。

生涯学習・スポーツ、スポーツ環境整備事業について伺います。

①事業の必要性では、サッカー競技以外の用途でも本施設を市民に開放し、天然芝に触れる機会を創出してきたとあります。機会とは、具体的にどのようなものだったのか。

③事業効果では、市民に楽しくスポーツに親んでもらえる場を提供するとあります。ここでいう「スポーツ」とは、具体的にどのようなものを想定しているのか、伺います。

●議長（宮崎信一君） 企画振興部長。

●企画振興部長（地方創生政策監）（高橋寿君） それでは、齋藤雄史議員の議案質疑についてですが、過疎計画の内容についての質問ですので私の方からお答えいたします。

①事業の必要性のサッカー競技以外の用途で天然芝に触れる機会について、具体的に言いますと、スポーツ推進委員の企画によるフライングディスク教室や公民館こども教室でのおにごっこやかけっこ、NPO法人BSスポーツクラブにかほでは、親子運動教室なども開催されております。特に平成23年には、市内全域から老若男女1,300人が集い、夏期巡回ラジオ体操を実施しておりますし、同じ天然芝である象潟グラウンドでも令和元年に夏期巡回ラジオ体操を実施しております。

次に、③事業効果についてであります。議員もご承知のとおり、これまで国体や高校総体、インターハイを初めとし、昨年開催されたオーバー60、オーバー70シニアサッカー大会など多くの全国大会のほか、東北総体、ミニ国体を初めとする多くの東北大会やJリーグキャンプなどにより、多くの方が当市を訪れ、スポーツに触れ合っております。これらの大会やキャンプには、市民の方の選手や運営スタッフとしての参加もありますが、多くの市民の方に会場に足を運んでいただき、観戦や応援によって大会を盛り上げていただいております。ここでいう「スポーツ」とは、サッカー競技をする、観る、支えるといった多様な関わりでスポーツを楽しむことと、また、先ほど申し上げたようなサッカー競技以外の気軽なスポーツを楽しむことを指しております。

以上です。

【5番（齋藤雄史君）「終わります」と呼ぶ】

●議長（宮崎信一君） これで議案第56号の質疑を終わります。

次に、議案第57号令和7年度にかほ市一般会計補正予算（第2号）についての質疑を行います。

質疑の通告がありましたので発言を許します。6番齋藤聡議員。

●6番（齋藤聡君） では、議案第57号令和7年度にかほ市一般会計補正予算（第2号）について、議案ページ13ページです。

歳入の方にも同額が計上されておりますが、歳出の方で、8款土木費2項道路橋梁費3目道路橋梁新設改良費8億4,202万円について、国・県支出金1億8,460万6,000円が土木債1億7,660万円、一般財源800万6,000円へ財源振替する理由と、事業費用途を確認いたします。

同じく5項住宅費1目住宅管理費8億1,015万7,000円について、国・県支出金8,940万2,000円が土木債7,690万円、一般財源1,250万2,000円へ財源振替する理由と、事業費用途を確認いたします。

また、併せて、今回の財源振替によって市の一般財源支出はどの程度増える見込みか、同じく伺います。

●議長（宮崎信一君） 総務部長。

●総務部長（危機管理監）（佐々木俊孝君） それでは、齋藤議員の議案質疑にお答えをいたします。

初めに、事業費の財源振替についてでございます。

補正予算書の13ページをご覧ください。

ご質問の歳出8款2項3目道路橋梁新設改良費及び8款5項1目住宅管理費につきましては、予算書の表の中ほどの列、補正額の財源内訳に記載のとおり、当初予算において財源として見込んでおりました土木費国庫補助金がいずれも予算額よりも減額となったために、財源を地方債と一般財源に振り替えるものでございます。

予算書の8ページをご覧ください。

歳入の14款2項4目土木費国庫補助金の減額の内訳については、1節道路橋梁費補助金の説明欄のとおり、無電柱化推進事業補助金が63万2,000円、道路メンテナンス事業補助金が2,142万7,000円、社会資本整備総合交付金が1億6,254万7,000円のそれぞれ減額となっております。

また、2節住宅費補助金については、社会資本整備総合交付金を8,940万2,000円減額しております。

事業費の用途というご質問でございますが、今回財源振替を行う事業費の内訳と捉えまして答えさせていただきます。

10ページをご覧ください。

今回補助金の減額に対応して、歳入の21款1項6目土木債の補正を行っております。このうち1節道路橋梁費に計上したのは、歳出の8款2項3目道路橋梁新設改良費の事業で、説明欄のとおり、橋梁点検事業、橋梁補修事業、象潟前川線無電柱化事業及び象潟前川線道路整備事業の四つの事業でございます。この中で当初予算において社会資本整備総合交付金を財源として計上しました象潟

前川線道路整備事業の補助額が特に大幅な減額となったものでございます。

その下の3節住宅債に計上したのが、歳出の8款5項1目住宅管理費の事業で、同じく社会資本整備総合交付金を財源に予算計上いたしました白幡森周辺エリア整備事業のうち、若者支援住宅建設事業について補助額が減額となったものでございます。

次に、今回の財源振替によって市の一般財源の支出がどの程度増える見込みかについてであります。

10ページの21款1項6目土木債の1節道路橋梁費に計上している事業のうち、橋梁点検事業及び橋梁補修事業につきましては、過疎対策事業債の活用を見込んでいるところです。また、象潟前川線道路整備事業につきましては、今年度が活用最終年度となる合併特例事業債を活用して事業を実施する予定であります。また、象潟前川線無電柱化事業につきましては、補助対応額の減額に伴いまして、起債対象額そのものも減額となりましたので、差額について一般財源で対応し、事業を実施しようとするものです。

また、3節住宅債の若者支援住宅建設事業につきましては、公営住宅建設事業債を活用し、事業を実施しようとするものです。

これらの起債のうち、過疎対策事業債及び合併特例事業債は、いずれも元利償還金の70%が交付税措置される財政上有利な起債でございます。今回の土木費国庫補助金の減額は、合計で2億7,400万8,000円を計上しておりますが、財源振替後の起債の一部が後年度、後の年度において交付税算入されるということもございますので、補助金の減額分がそのまま財政負担となるものではございません。

これらを踏まえまして、今年度の一般財源対応分及び起債による利子を含めた公債費の増加を含めると、今回の補助減額による影響は約1億8,000万円程度と推計をしているところでございます。

以上です。

【6番（齋藤聡君）「終わります」と呼ぶ】

●議長（宮崎信一君） 次に、7番齋藤進議員。

●7番（齋藤進君） それでは、議案番号57番、令和7年度にかほ市一般会計補正予算（第2号）中、6款農林水産業費1項農業費5目畜産業費18節負担金補助及び交付金「夢ある畜産経営ステップアップ支援事業」14万3,000円について、3点について伺います。

1点目、令和5年3月議会で同様の事業補助金について、委員会質疑をした際、この補助事業は令和7年度までと説明がありました。六つあるメニューのうち、スマート農業推進（スマート農業機械）の導入の事業内容の詳細について伺います。

2点目、導入した場合の効果をどのように評価しているか伺います。

3点目、畜産業界の安定的な事業運営のサポートとして大変重要な補助事業だと考えますが、令和8年度以降の同補助事業の継続見込みについて伺います。

以上3点、よろしく申し上げます。

●議長（宮崎信一君） 農林水産建設部長。

●農林水産建設部長（阿部光弥君） 齋藤進議員の議案質疑にお答えいたします。

初めに、①のスマート農業、スマート農業機械の導入の事業内容の詳細についてですが、ICT導入による省力化や効率化、生産性、収益性の向上を図る機会の整備に必要な経費に助成するもので、認定農業者等が対象となります。

補助上限額が1,000万円以内で、事業実施後の販売額が県補助金の額の1.2倍以上増加することが要件となります。

補助対象機械は、分娩・発情監視システム、哺乳ロボット、自動給餌機、行動モニタリング装置等、秋田県スマート農業導入指針に記載のあるものとしております。

今回の申請については、1件の畜産農家が遠隔で牛の体温を測定し、分娩や発情を監視するシステムを1セット導入するものです。

次に、②の導入した場合の効果をどのように評価しているかについてですが、申請予定の農家の方は、昨年度も同様の補助金を活用してシステムを導入しており、令和6年度の活用実績を書面で報告いただいております。これによると、システムの導入により、子牛の分娩事故はなくなったとの報告があり、令和6年度に活用した上で、更に令和7年度に追加導入するということですので、効果は十分あると判断しております。

最後に③の令和8年度以降の同補助事業の継続見込み等の情報はるかについてですが、この補助事業は県が単独で創設した補助事業であり、今のところ県から正式な事業継続の情報は入っておりません。

以上です。

【7番（齋藤進君）「終わります」と呼ぶ】

●議長（宮崎信一君） これで議案第57号の質疑を終わります。

次に、議案第58号から議案第61号までの議案4件の質疑を行います。質疑はありませんか。

【「なし」と呼ぶ者あり】

●議長（宮崎信一君） 質疑なしと認めます。これで議案第58号から議案第61号までの4件の質疑を終わります。

次に、議案第62号令和7年度にかほ市一般会計補正予算（第3号）についての質疑を行います。質疑はありませんか。

【「なし」と呼ぶ者あり】

●議長（宮崎信一君） 質疑なしと認めます。これで議案第62号の質疑を終わります。

日程第23、一般会計予算特別委員会の設置を議題とします。

お諮りします。にかほ市議会委員会条例第6条の規定により、議案第45号令和6年度にかほ市一般会計補正予算（第14号）の専決処分の報告及びその承認について（専決第4号）及び議案第57号令和7年度にかほ市一般会計補正予算（第2号）について、並びに議案第62号令和7年度にかほ市一般会計補正予算（第3号）についての3件の審査のため、議長を除く議員14人をもって構成する一般会計予算特別委員会を設置したいと思っております。これにご異議ありませんか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

●議長（宮崎信一君） 異議なしと認めます。したがって、そのように決定しました。

一般会計予算特別委員長が決まるまで、にかほ市議会委員会条例第10条第2項の規定により、年長議員から司会をお願いします。16番伊藤竹文議員。

しばらく休憩します。

午前10時53分 休 憩

.....

一般会計予算特別委員会会議録

出席委員（14名）

1 番	高橋利枝	2 番	齋藤光春
3 番	佐々木正勝	4 番	宮崎信一
5 番	齋藤雄史	6 番	齋藤聡
7 番	齋藤進	9 番	佐々木平嗣
10 番	小川正文	11 番	佐々木孝二
12 番	佐藤直哉	13 番	佐々木春男
14 番	佐々木敏春	15 番	森鉄也
16 番	伊藤竹文		

.....

欠席委員（0名）

.....

議会事務局職員

議会事務局長	今野和彦	次長	加藤潤
班長兼副主幹	今野真深		

.....

説明員

市長	市川雄次	副市長	本田雅之
教育長	小園敦	総務部長 (危機管理監)	佐々木俊孝
企画振興部長 (地方創生政策監)	高橋寿	市民福祉部長	佐々木修
農林水産建設部長	阿部光弥	商工観光部長	池田智成
教育次長	佐藤喜仁	消防長	須田勇喜
会計管理者	齋藤稔	総務課長	齋藤邦
財政課長	須田泰史	総合政策課長	西村仁

観 光 課 長	今 野 伸 二	選挙管理委員会・ 監査委員事務局長	佐 藤 直 子
福 祉 課 長	佐々木 美 佳	農 林 水 産 課 長	柴 田 俊 幸
建 設 課 長	竹 内 千 尋	消防本部総務課長	須 藤 孝

.....

午前10時54分 開 会

●年長委員（伊藤竹文君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

にかほ市議会委員会条例第10条第2項の規定により、一般会計予算特別委員会の委員長が決まるまで、私が司会することにいたします。

ただいま出席している委員は14名です。したがって、にかほ市議会委員会条例第16条で規定する定足数に達しております。

ただいまから一般会計予算特別委員会を開会いたします。

委員長及び副委員長の選任についてを議題といたします。

お諮りします。委員長は副議長が務めることになっておりますので、一般会計予算特別委員会委員長は、副議長の私、16番伊藤竹文が就くことといたします。同じく副委員長には、申し合わせにより、各常任委員会の副委員長が輪番で務めることになっておりますので、3番佐々木正勝委員を推薦します。これにご異議ありませんか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

●年長委員（伊藤竹文君） 異議なしと認めます。したがって、委員長には私、16番伊藤竹文が、副委員長には3番佐々木正勝委員が決定いたしました。

16番伊藤竹文と3番佐々木正勝委員が議場におりますので、本席から、にかほ市議会会議規則第32条第2項の規定に準じて告知いたします。

以上をもちまして、年長委員としての職務を終了いたします。

引き続き私が議事を進行いたします。

【一般会計予算特別委員長（伊藤竹文君）が議事をとる】

●一般会計予算特別委員長（伊藤竹文君） 一般会計予算特別委員会は、にかほ市議会委員会条例に定める常任委員会をそれぞれ一般会計予算特別小委員会に改め、一般会計予算特別委員会に付託予定の議案第45号及び議案第57号、並びに議案第62号を一般会計予算特別小委員会で審査をお願いしたいと思います。これにご異議ありませんか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

●一般会計予算特別委員長（伊藤竹文君） 異議なしと認めます。したがって、そのように決定いたしました。

これで一般会計予算特別委員会を散会いたします。

暫時休憩いたします。

午前10時57分 散 会

.....

午前10時57分 再 開

●議長（宮崎信一君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

日程第24、議案及び陳情の付託を議題とします。

ただいま議題となっています議案第43号から議案第62号までの議案20件は、お手元に配付した議案付託表のとおり、それぞれ所管の常任委員会及び一般会計予算特別委員会に付託したいと思います。これにご異議ありませんか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

●議長（宮崎信一君） 異議なしと認めます。したがって、そのように決定しました。

次に、陳情第6号から陳情第8号までの3件は、お手元に配付した陳情文書表のとおり、それぞれ所管の常任委員会に付託したいと思います。これにご異議ありませんか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

●議長（宮崎信一君） 異議なしと認めます。したがって、そのように決定しました。

以上で本日の日程は全部終了しました。

本日は、これで散会いたします。

午前10時58分 散 会